




2017年12月期 決算説明会

 **立川ブラインド工業株式会社**

(東京証券取引所 市場第1部 証券コード` 7989)

目次

- 
- | | |
|-----------|-----|
| 1. グループ概要 | P 2 |
| 2. 決算概況 | P11 |
| 3. 今後の見通し | P19 |

1. グループ概要

会社概要 (2017.12月期)

立川ブラインド工業は、インテリア業界No1を目指します

社名	立川ブラインド工業株式会社 証券コード7989
創業	1938(昭和13)年5月※昭和22年に株式会社改組
資本金	44億7,500万円
連結総資産	514億円
売上高	連結 401億円 (単体 316億円)
従業員	連結 1,168人 (単体 771人)
本社	東京都港区三田三丁目1番12号
事業	各種ブラインド／間仕切／ カーテンレールの製造・販売・設計施工
	【営業拠点】 全国67箇所
	【製造拠点】 2工場3製作所
	【ショールーム】 12箇所
	【連結子会社】 8社



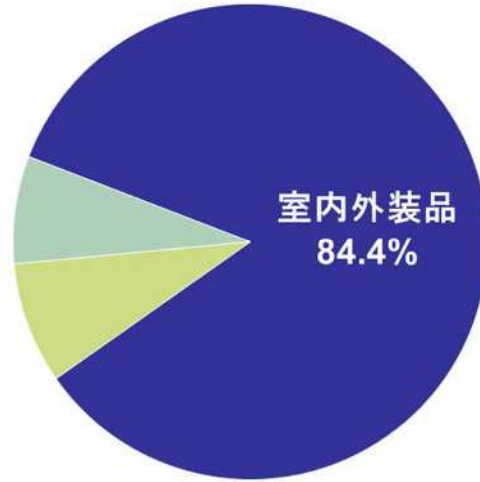
本社

インテリア関係が8割強を占める

駐車場装置事業: 7.3%
 売上高 2,941百万円
 営業利益 239百万円



減速機事業: 8.3%
 売上高 3,311百万円
 営業利益 134百万円



室内外装品事業 (84.4%)
 売上高 33,853百万円
 営業利益 3,268百万円

(2017.12月期実績)

富士変速機(株)

- 名証2部 資本金:25億(当社55.5%保有) 従業員:185名
- H29年実績:売上62億(前年比+6.9%) 経常利益:3億 純利益:2億
- 駐車場装置:エレベータ式立体駐車場装置
- 減速機:汎用減速機(ギヤードモータ)・特殊減速機・シャッター駆動装置

高付加価値製品の提案による需要創造

近年、遮蔽性などの付加価値の高い高機能製品の開発、提案を中心とした需要喚起、ラインナップ拡充

ブラインドの特徴

- ・調光性・プライバシー・省エネ



ブラインドの優れた点をより進化させた高機能ブラインド「パーフェクトシルキー」
2012年9月発売



高機能ブラインド「パーフェクトシルキー」に「スリーウェイ」を新たにラインナップ
2014年6月発売



ヨコ型ブラインド『パーフェクトシルキー』に新機能「RDS(減速降下機能)」を搭載
2016年10月発売



光漏れを低減したヨコ型ブラインド「シルキーシェイディ」
2017年7月発売



昇降コードの穴をあけない構造で光漏れを軽減した高機能製品
ブリーツスクリーン「ゼファー」・「フィーユ」
2013年7月発売



高機能な木製ブラインド「フォレティアエグゼ」
2013年6月発売



「フォレティアシェイディ」
2015年5月発売

ブラインド用途は、「住宅向け」だけでなく、「オフィス向け」、「公共施設向け」など多様

光を演出する、
お部屋をコーディネートする。

本当にリラックスでき、
快適さを実感できる空間とはなにか…。
私たちは、性能、素材、色彩など、
さまざまな視点からその本質をつねに追求しています。



HOME

PUBLIC

OFFICE

タチカワブラインドの
事業展開

高度化するビジネス空間を、
もっと快適に。

オフィスで働く人たちが
仕事に専念できる環境をつくるために。
優れた操作性や省エネ効果の高い
ブラインドなどを取り揃え、あらゆる
快適空間づくりの提案を行っています。



公共施設にふさわしい快適性を追求。

タチカワブラインドは、今までに庁舎、ホテル、学校、病院、スポーツ施設など、
都市のシンボルとなる建築物をはじめとしたさまざまな公共施設に納入した確かな実績を誇ります。

多品種・短納期のオーダー生産

多品種

【品目：887種】

色柄 ブラインド337色・
ロールスクリーン550アイテム

地域に密着した一貫体制の確立

開発

販売
全国67拠点

生産
2工場・3製作所

据付
施工業者を組織化

— 各業務プロセスを内製化することにより、お客様の声をそのままカタチに —

短納期

【受注後2～5日】

情報システムによるオーダーエントリーとリアルタイムの
製作指示・在庫管理・出荷の迅速処理

オーダー生産

【窓に合せ丈・幅1cm単位で製作】
サイズ・色柄・操作など全て対応
製品在庫は原則ナシ

支店・営業所全国 67か所
ショールーム 12箇所



- 本社
- ★ ショールーム
- 支店
- 営業所
- ▲ 工場
- ▼ 製作所



《主要拠点にショールーム設置》

- 銀座ショールーム…銀座8丁目
- 新宿ショールーム…2013/3 OPEN
- 札幌ショールーム
- 仙台ショールーム
- 信越ショールーム
- 横浜ショールーム
- 名古屋ショールーム
- 金沢ショールーム
- 大阪ショールーム
- 高松ショールーム
- 広島ショールーム…2016/11 OPEN
- 上海ショールーム…2011/11 OPEN

2工場・3製作所

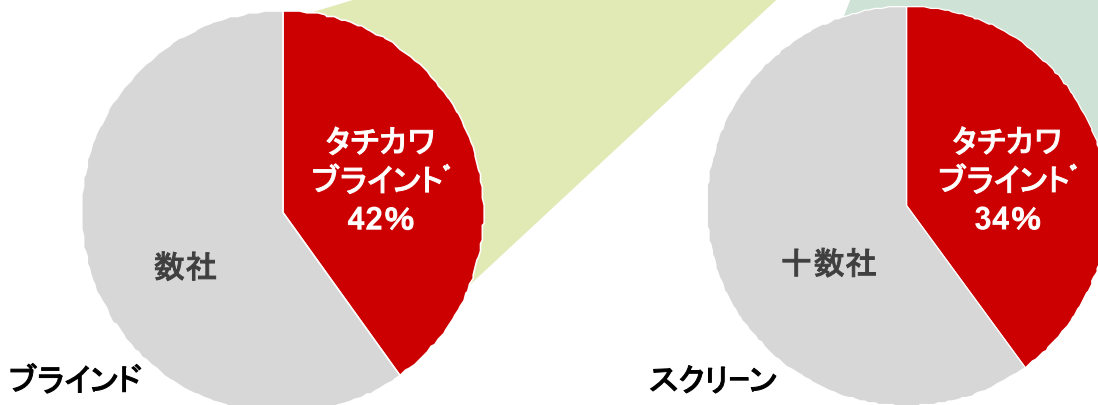
2016年度 窓周りインテリア市場

卸売ベース 約2,000億円 (内、ブラインド類 約885億円)

構成比 約6割	構成比 約4割		
カーテン 1,129億	ブラインド 292億	スクリーン 355億	カーテンレール 237億

ブラインド類、スクリーン類でNo.1シェア

↓ シェア2位



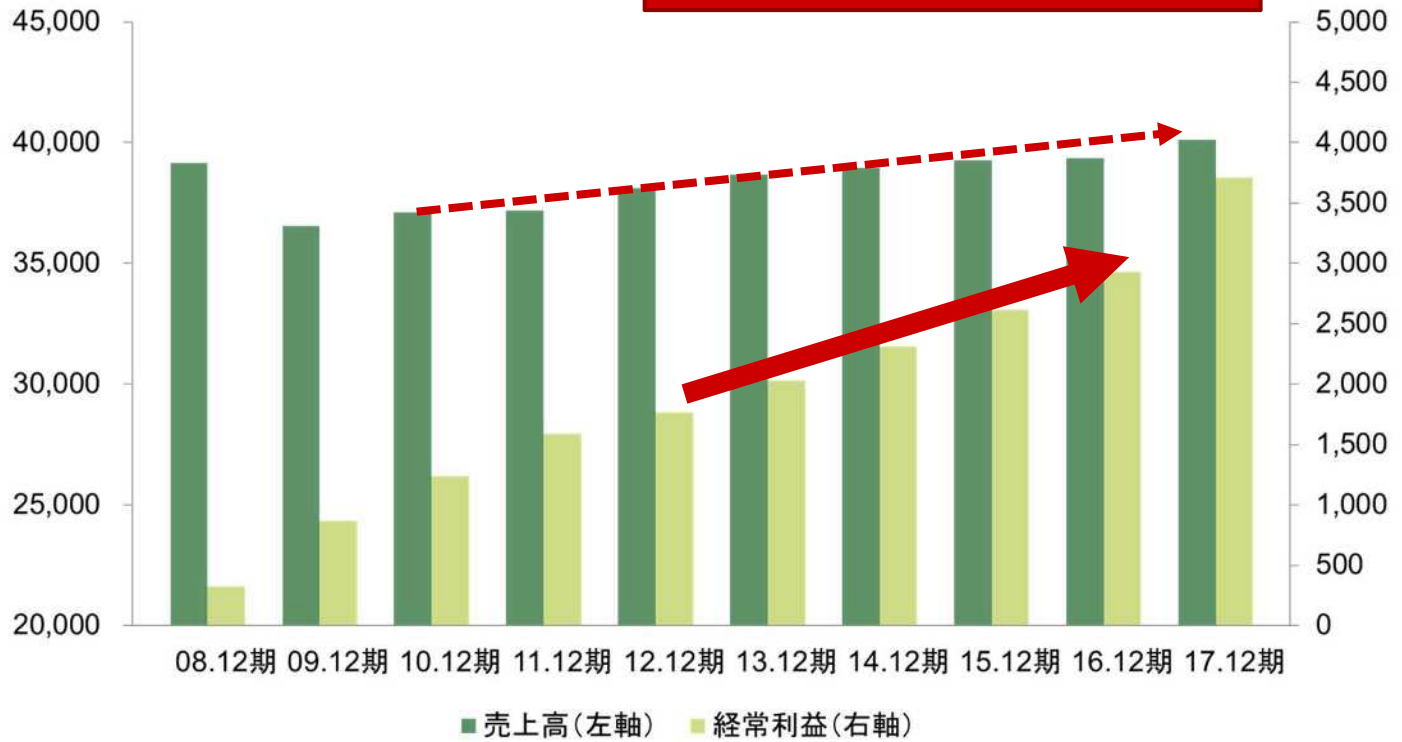
(社)日本インテリアファブリックス協会資料 他より推定

08年以降、収益改善。増収増益継続。

(単位:百万円)

(単位:百万円)

売上の増加傾向に従い、利益体質に転換



2. 決算概況

連結累計期間

売上高 **401**億 5百万円

営業利益 **36**億43百万円

経常利益 **37**億14百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益 **22**億81百万円

- 売上高は前期比+1.9%増加
- 営業利益は前期比+27.0%増加
- 経常利益は前期比+27.0%増加
- 親会社株主に帰属する
当期純利益は前期比+31.0%増加

国内経済

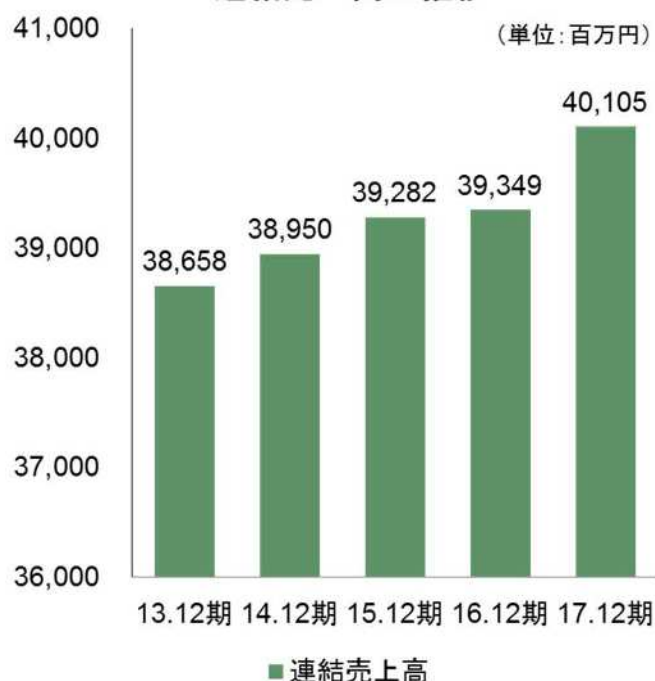
企業収益および雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費は力強さを欠くなど先行き不透明な状況で推移。

建設・住宅業界においては、各種政策効果による下支えが続いたものの、新設住宅着工戸数は勢いに鈍化が見られるなど厳しい環境が続いた。

連結売上高・利益の推移

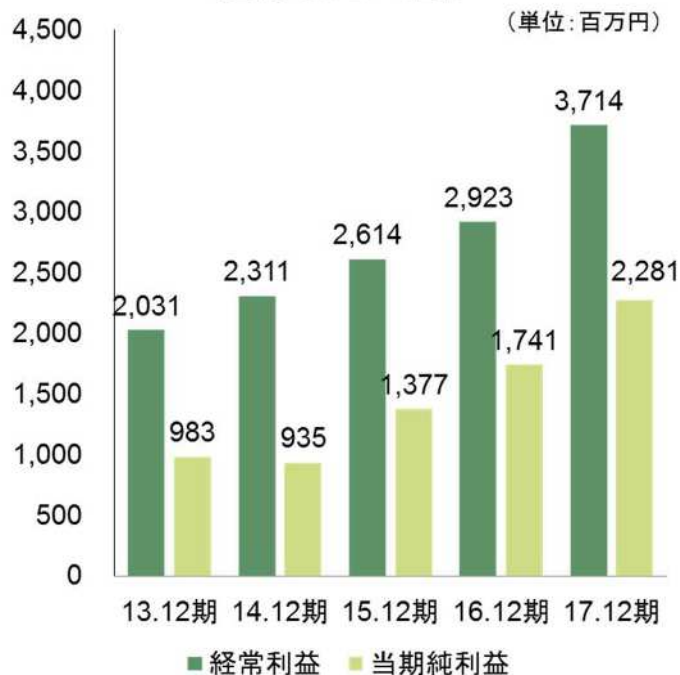
連結売上高の推移

(単位:百万円)

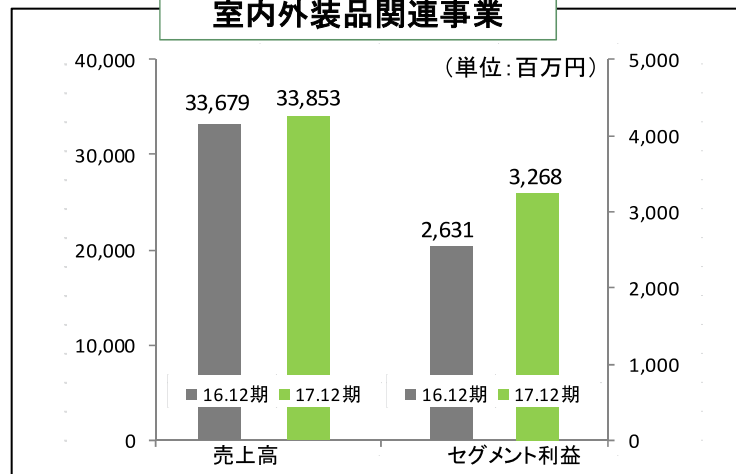


連結利益の推移

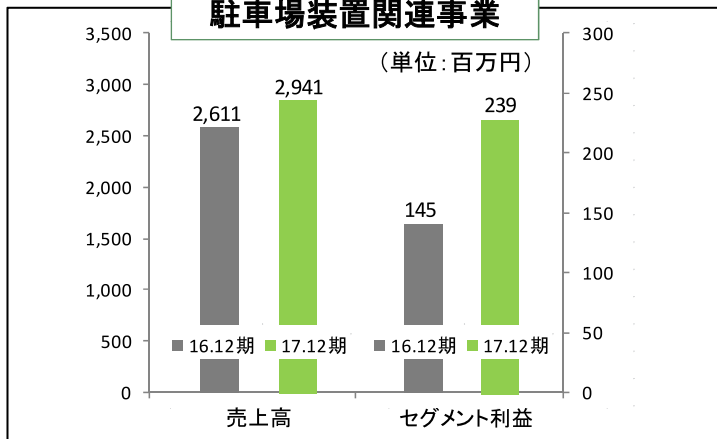
(単位:百万円)



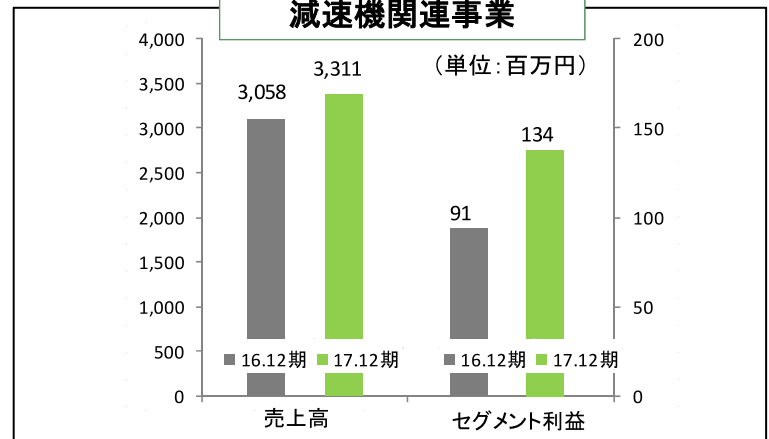
室内外装品関連事業



駐車場装置関連事業



減速機関連事業



2017年主要施策①

高機能製品を中心とした製品ラインナップ拡充

2017年1月

ヨコ型ブラインド『モノコムシェイディ』より大きな窓に対応するサイズで製作可能に

今回、製作可能な高さを400cm(従来は280cm)まで拡大したことで、近年増加している天井高が高く、開放感のあるオフィスビルや商業施設などの窓に対し、より最適な提案が可能となりました。



2017年4月

ロールスクリーン『ラルクシールド』正面付けに「サイドカバー」を標準装着

ロールスクリーン『ラルクシールド』の正面付けに、製品本体とシールドの端部を覆う「サイドカバー」を発売。シールドと製品本体の一体感を高めることで、側面からの意匠性向上に加え、正面からもよりすっきりした意匠になりました。



2017年7月

スラット(羽根)中央部の穴をなくし、光漏れを低減したヨコ型ブラインド『シルキーシェイディ』

スラットの穴が中央部にはなく、両端部のみにあるため、全閉時の光漏れと直射光の侵入を低減。また、スラットの両端から3cmのところに穴があることで、穴を通るコードを境目にして、スラットが折れにくくなりました。



2017年7月

ヨコ型ブラインド「パーフェクトシルキー」「シルキーシェイディ」「シルキー」製品幅5mm単位 製作対応開始

ヨコ型ブラインド「パーフェクトシルキー」「シルキーシェイディ」「シルキー」におきまして、7月3日(月)より製品幅5mm単位での製作対応を開始いたしました。より細かなサイズで製作対応できるので、きれいに窓に納めることができます。また、窓枠内への取付けの際に、窓枠と製品のすき間が少なく光漏れを軽減できます。



2017年3月

窓まわりにおすすめの製品を1冊にまとめたサンプル帳『窓まわりセレクション』登場

『窓まわりセレクション』は、ロールスクリーン「ラルクシールド」、タテ型ブラインド「ラインドレープ」、プリーツスクリーン「ペルレ」、ヨコ型ブラインド「シルキー」の窓まわり4製品を1冊にまとめた新しいサンプル帳。さまざまなシーンや用途に合わせたトータルコーディネートをご提案しています。



2017年5月

全国24会場にて新製品発表会を開催

5月18日(木)～8月8日(火)の期間、22都道府県24会場で「2017年タチカワブラインド新製品発表会」を開催しました。当発表会では、「+ONE～ナルホド!で見つかる理想の空間づくり～」をテーマに、おすすめ製品のそれぞれの特長や使用用途の展示、また提案の幅を広げられる販促ツールの紹介など「プラスワン」な情報を提案しました。



2017年12月 連結貸借対照表

貸借対照表・キャッシュフロー

【貸借対照表】

単位：百万円 ()内は前期末比増減

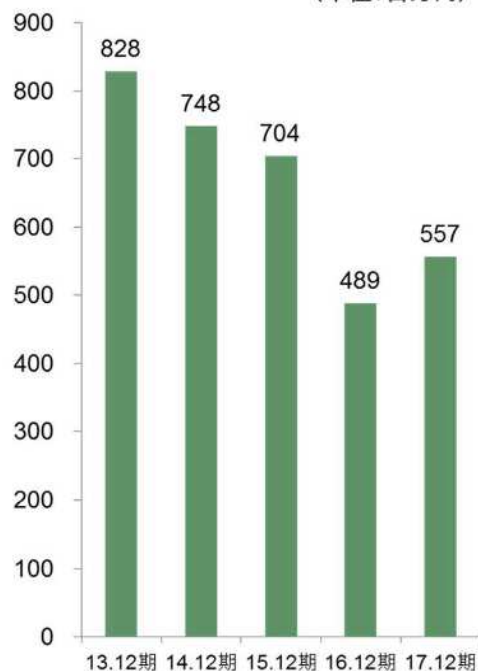
<<主な変動要因>> 流動資産 ・現金及び預金の増加(+1,924) ・受取手形及び売掛金の増加(+559) 固定資産 ・投資有価証券の増加(+158) ・有形固定資産、無形固定資産の減少(△94)	総資産51,448百万円(+2,282)		<<主な変動要因>> 負債の部 ・支払手形及び買掛金の増加(+64) ・退職給付に係る負債の減少(△286) 純資産の部 ・利益剰余金の増加(+1,989) ・退職給付に係る調整累計額の増加(+301)
	流動資産 34,083(+2,319)	負債 13,446(△192)	
	固定資産 17,364(△36)	純資産 38,001(+2,474)	

【キャッシュフロー計算書】

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	+2,461百万円	+2,940百万円	+478百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△362百万円	△632百万円	△270百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△415百万円	△385百万円	△30百万円

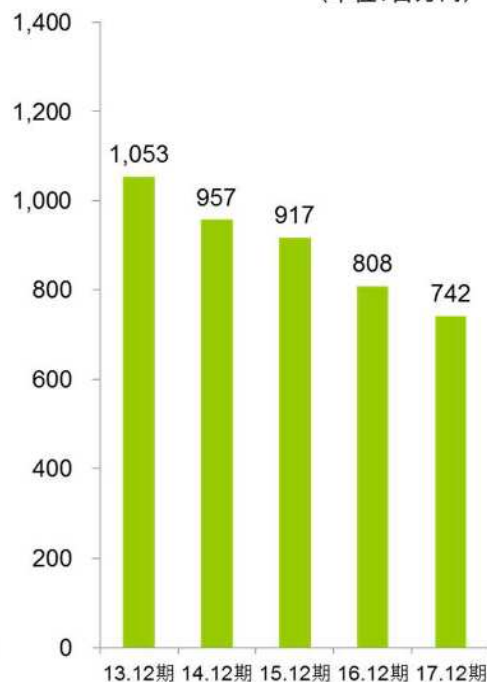
①設備投資額

(単位:百万円)



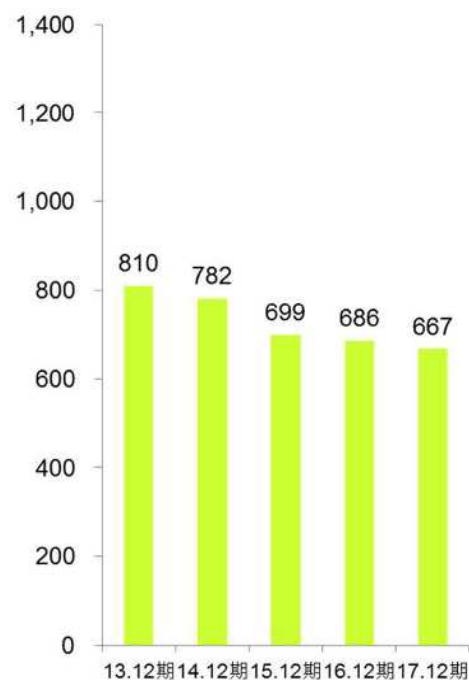
②減価償却費

(単位:百万円)



③研究開発費

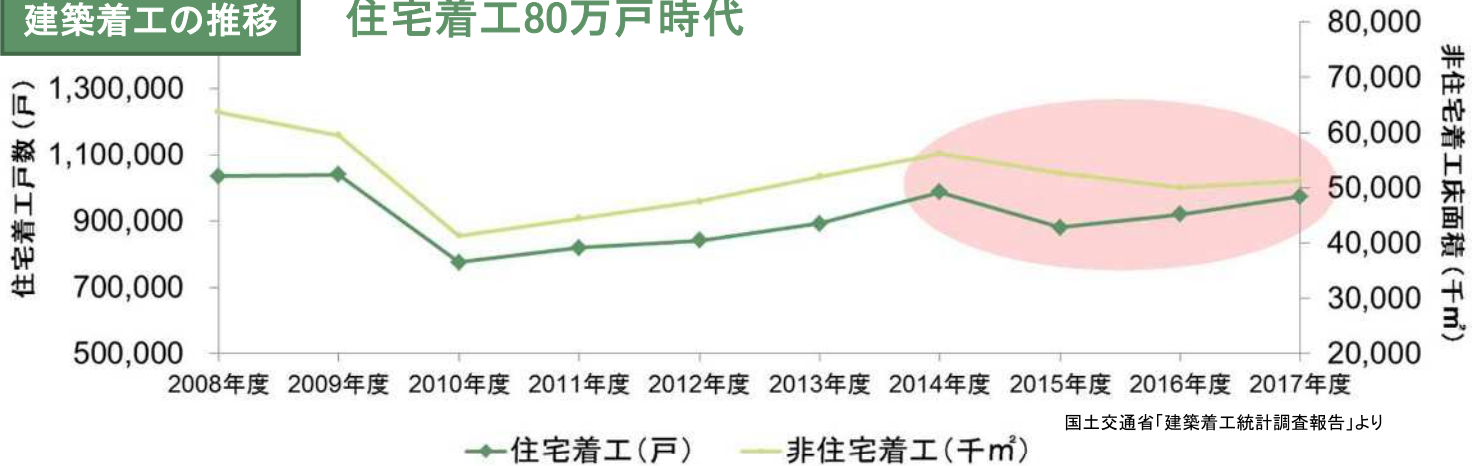
(単位:百万円)



3. 今後の見通し

建築着工の推移

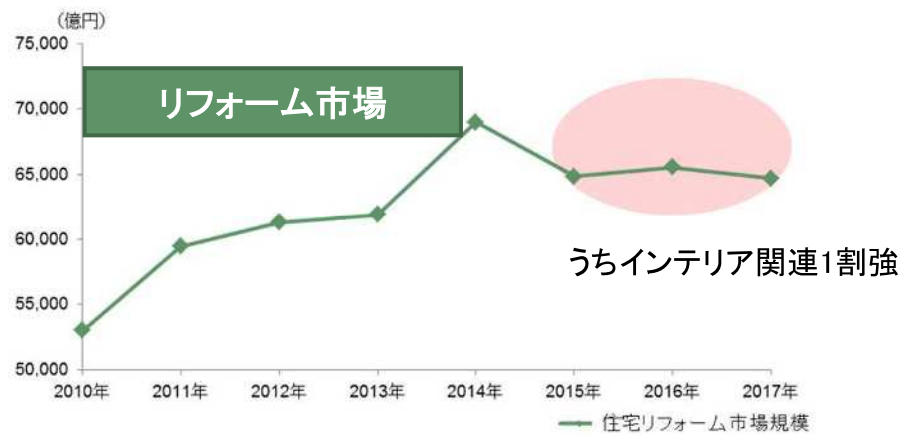
住宅着工80万戸時代



住宅ストック需要

総世帯数
約5,000万世帯

総務省「住宅・土地統計調査」より



中長期的な経営戦略

取り巻く環境

- 国内新築市場の停滞(新築住宅着工80万戸水準)
- 少子高齢化の進行
- 環境問題の深刻化

当社の経営戦略

1. 既存事業領域の深耕

当社グループの主要な収益源である室内外装品関連事業において、お客様の視点に立った新製品開発や営業活動に注力し、高機能製品による需要創造やリフォーム市場への取り組みを強化することで、既存事業領域を深耕する。

2. 成長分野への取り組み強化

中長期的な国内市場の縮小が見込まれるなか、外国人観光客の増加により活性化しているホテル需要に加え、海外市場など成長分野への取組みを強化する。

3. 生産体制の強化

減速機関連事業、駐車場装置関連事業においては、生産リードタイムの短縮、工場稼働率の向上を図り、顧客対応力を強化する。

4. 経営資源の整備

将来に亘り安定的な収益基盤を構築するため、事業拠点や生産設備といった経営資源を計画的に整備していくとともに、人材育成に注力する。

(単位: 百万円)

連結経営指標	2017年実績	2018年	
		業績見通し	前期比
連結売上高	40,105	41400	+3.2%
連結営業利益	3,643	3,750	+2.9%
連結経常利益	3,714	3,820	+2.9%
連結当期純利益	2,281	2,330	+2.1%
1株当たり当期純利益	117.23円	119.74円	+2.1%

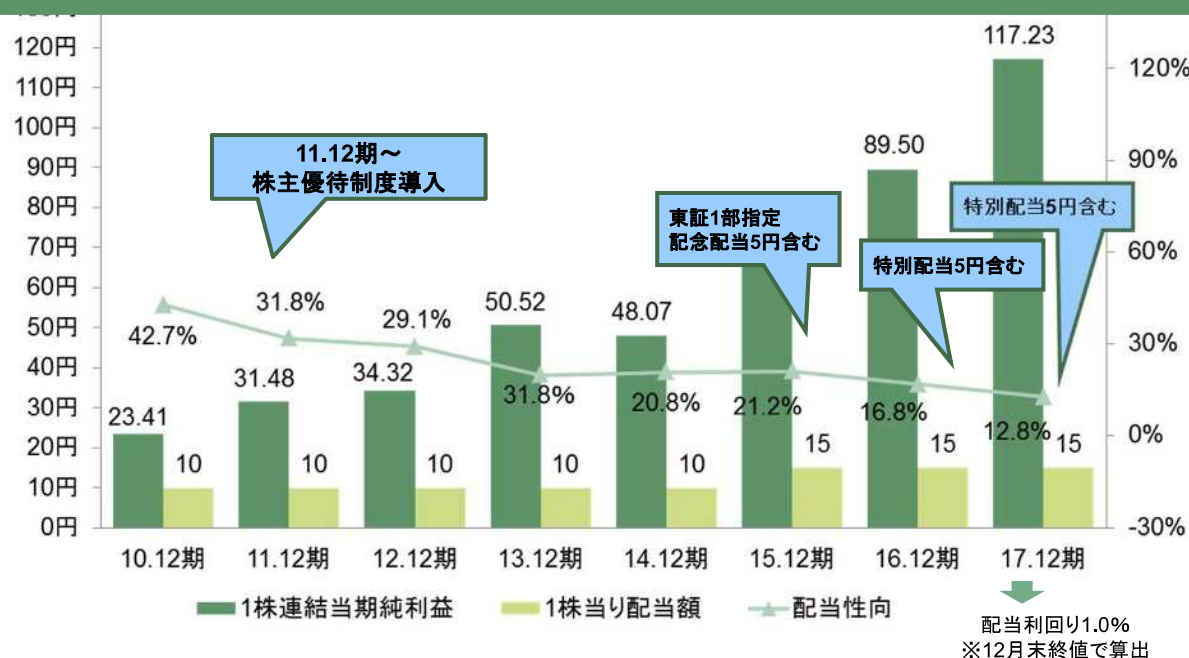
22

配当の状況

配当方針

持続的成長による企業価値および株主価値の向上を図ることを目的として、財務基盤の強化と高収益性の実現を図りながら、安定的な配当を維持するとともに、業績目標の達成度に応じた配当を適宜判断し行う方針にしております。

2018年度の配当金につきましては、安定配当とともに、業績目標の達成度に応じた配当を予定しております。



23

立川ブラインド工業株式会社

(東京証券取引所 市場第1部 証券コード7989)

【お問い合わせ】 総務部 法務広報課

03-5484-6140

<http://www.blind.co.jp/>